

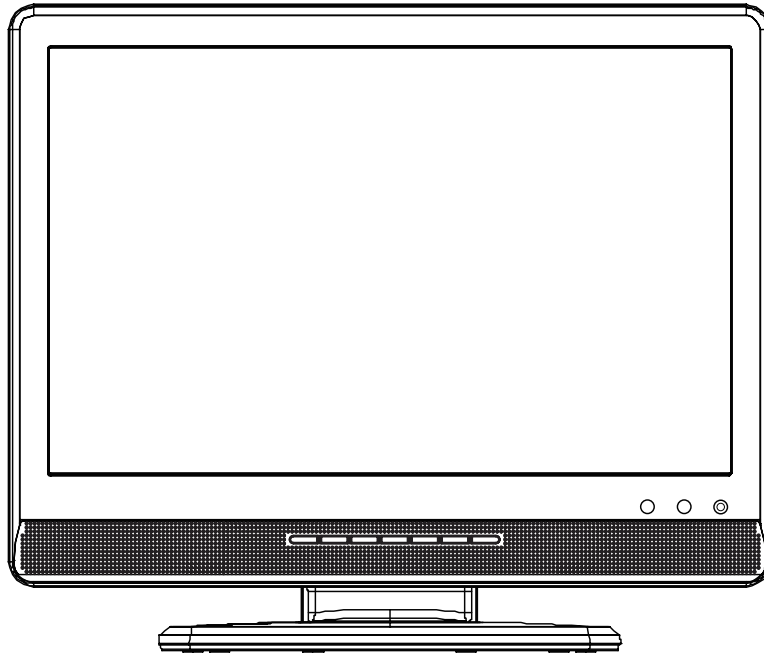
日立液晶テレビ
(地上デジタルハイビジョン液晶テレビ)

形名

19L-S500B / 19L-S500W

地上デジタル放送専用

取扱説明書



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に

この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。本体の取り扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解の上、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

ご使用の前に

テレビを設置する

テレビを楽しむ

調節・設定・確認

困ったときは

ご参考

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足している物があれば、販売店にご連絡ください。

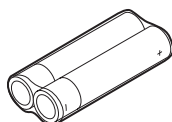
■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

お守りください

- 電源コードは、必ず付属品をお使いください。
- 付属品の電源コードは、本機以外の電気機器には使用しないでください。



リモコン送信機 16



単4形乾電池（2本） 21
（動作確認用）



電源コード（1.8m） 35



RF（アンテナ）ケーブル（1.8m） 22



ビーキャスト
B-CAS カード 24

保証書…………… 1冊
取扱説明書（本書）……… 1冊

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

この説明書で使用しているアイコンについて

注意 安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください 操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ 操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

メモ 知っているると便利な操作・解説を記載しています。

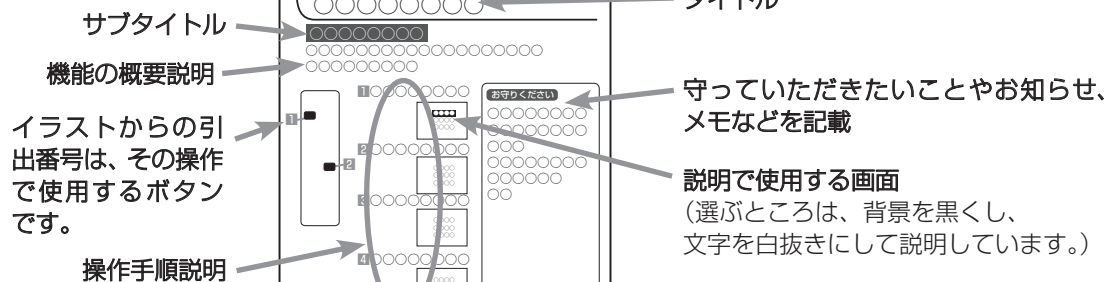
マーク マークは、取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

- | | | | |
|--|-----------|--|---------|
| | 上下左右方向の操作 | | 左右方向の操作 |
| | 上下方向の操作 | | 左方向の操作 |
| | 上方向の操作 | | 右方向の操作 |
| | 下方向の操作 | | |

各ページの見かたについて



目次

| | | |
|---|--|---|
| ご使用の前に | 付属品について…………… 2 本書の見かた…………… 2 もくじ…………… 3 | 使用上のご注意…………… 4 アナログ放送から デジタル放送への移行について…… 13 |
| テレビを 設置する | もくじ…………… 15 各部のなまえ…………… 16 設置と準備の進めかた…………… 20 リモコンの取り扱い…………… 21 アンテナと接続する…………… 22 B-CAS カードを挿入する (重要) …… 24 | お手持ちの機器と接続する…………… 25 電源プラグの接続について…………… 35 据え付けについて…………… 36 電源を入れる / 切る…………… 38 かんたんセットアップ…………… 39 |
| テレビを 楽しむ | もくじ…………… 43 デジタル放送を見る…………… 44 電子番組表 (EPG) を見る …… 46 視聴予約する…………… 49 画像に合わせてワイド画面を切り換える …… 56 映像モードを選びたいとき…………… 58 字幕を表示する…………… 59 2カ国語音声に切り換えたいとき…… 60 | 画面を静止画にしたいとき…………… 61 目覚ましとして使用したいとき…………… 62 自動的に電源を切りたいとき…………… 64 チャンネル番号などを知りたいとき… 65 音声を一時的に消したいとき…………… 66 ビデオなどの映像を見る…………… 67 本体で操作したいとき…………… 68 |
| いろいろな 調節・設定・ 確認をしたい とき | もくじ…………… 69 メニュー画面について…………… 70 受信チャンネル設定をしたいとき…………… 72 映像をお好みに合わせて設定したいとき…… 76 画面をお好みに合わせて設定したいとき…… 78 音声をお好みに合わせて設定したいとき…… 80 画面表示の機器名を変更したいとき…… 81 字幕、文字スーパーの設定を変えたいとき…… 82 | 消費電力の低減設定をしたいとき…………… 83 本体のボタン操作をできなくしたいとき …… 84 すぐに操作できるようにする (高速起動) …… 85 B-CAS カード ID 番号、 ソフトのバージョンを確認したいとき …… 86 お知らせの確認…………… 87 全ての設定をお買い上げ時の状態にする… 88 |
| 困ったときは | もくじ…………… 89 故障かな?と思ったら…………… 90 メッセージ表示一覧…………… 93 | メニュー階層…………… 94 初期設定一覧…………… 96 用語解説…………… 97 |
| ご参考 | 仕様…………… 98 寸法図…………… 99 保証とアフターサービス (必ずご覧ください) 100 | お客様ご相談窓口 (家庭電器製品の表示に関する公正競争規定により表示) …… 101 索引…………… 102 |

ご使用の前に

テレビを設置する

テレビを楽しむ

調節・設定・確認

困ったときは

ご参考

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷*¹を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害*²を負う可能性が想定される内容および物的損害*³のみの発生が想定される内容を示しています。

- * 1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものを指しています。
- * 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指しています。
- * 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指しています。

図記号の例



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。



必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

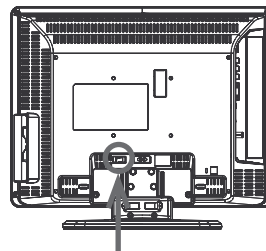
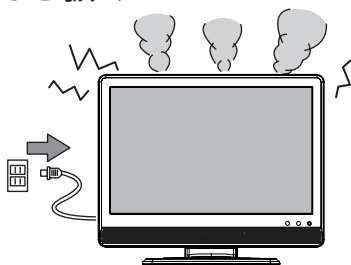
異常や故障のとき

警告

- 煙が出ている、変なおいや音がするときは、すぐに本機の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く



主電源スイッチは、本体後面にあります。

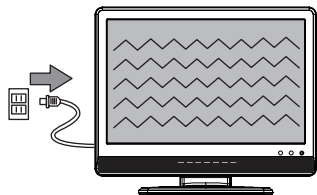
異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。

注意

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く

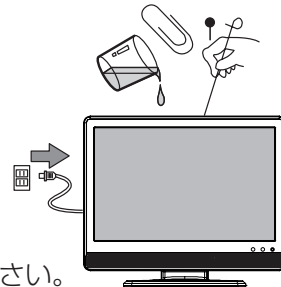


それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く

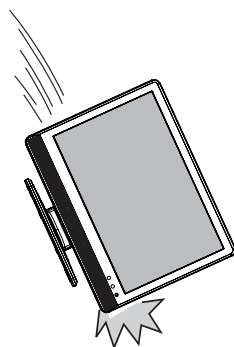


それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本機の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く



それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

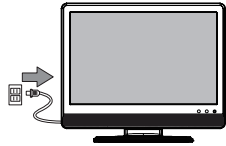
●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

使用上のご注意（つづき）

設置するとき

警告

- 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

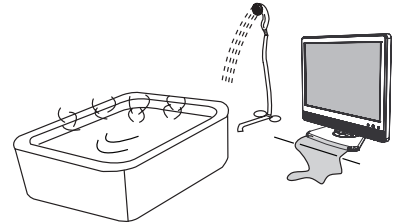


本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。本機は主電源スイッチが「切」の状態でも、極微弱な電流が流れています。

- 風呂、シャワー室では使用しない

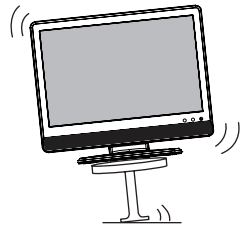


風呂場やシャワー室での使用禁止



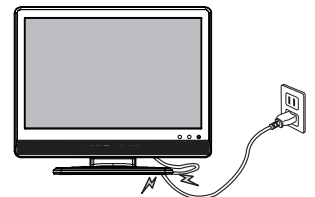
火災・感電の原因となります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



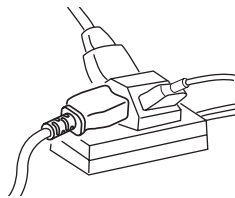
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードを本機の下敷きにしない



コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや交流 100V (50/60Hz) 以外では使用しない



- たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

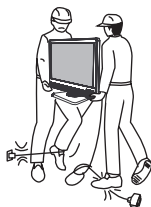
⚠️ 注意

■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンなどの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

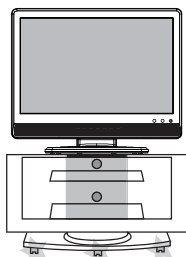
■移動させる場合は、主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

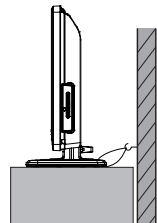
- アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。
- 本機は質量が大きく奥行きが無くて不安定なため、一人で作業をしようと思わぬけがの原因になります。

■キャスター付きテレビ台に本機を設置する場合にはキャスター止めをする



動いて思わぬけがの原因となることがあります。

■転倒防止の処置を行う



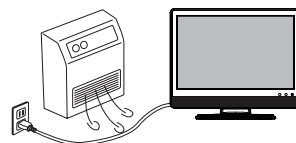
テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください



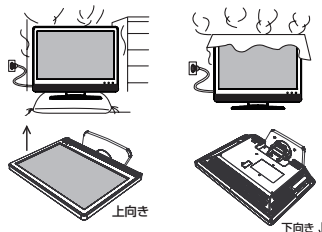
医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

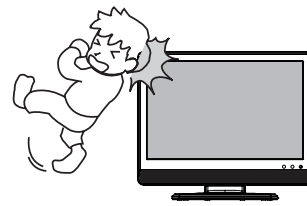
■本機の通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。また、本機の設置は、壁から左右 10cm 以上、上部は 30cm 以上離す。（壁掛け設置をする場合は除く）特に次のような使いかたはしない。故障の原因となります。

- 本機を上向きや横倒し、下向きにする。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。

■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない



けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。●壁掛け・天吊り据え付け時には、頭などをぶつけることのないように、取り付けの高さにご注意ください。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください



- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

使用上のご注意（つづき）

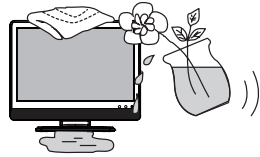
使用するとき

警告

■本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

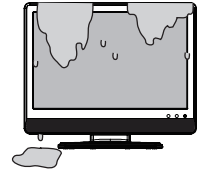


こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない



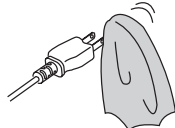
水ぬれ禁止



火災・感電の原因となります。

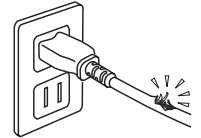
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。定期的（年に1回くらい）に清掃してください。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない



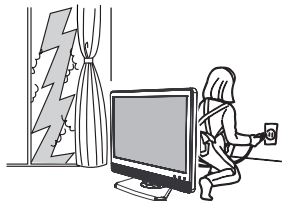
コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない



接触禁止

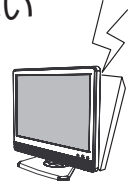


感電の原因となります。

■本機の裏ぶた、前面枠、カバーは外さない、本機を改造しない



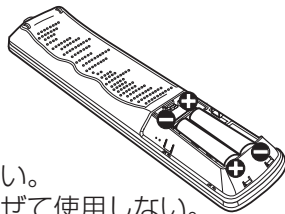
分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

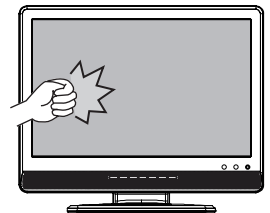
注意

■間違った電池の使いかたをしない



- 乾電池は充電しない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

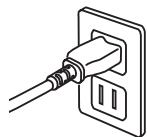
■前面パネルには、絶対に衝撃を加えない



本機の前面パネルをたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。

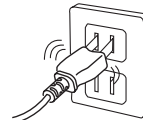
⚠ 注意

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



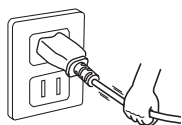
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグは根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しない



発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

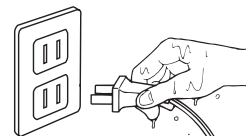


コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止



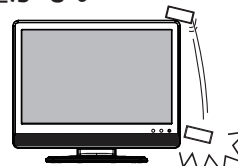
感電の原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない



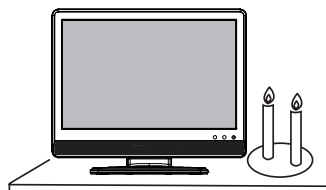
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■本機の上に重い物を置かない



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

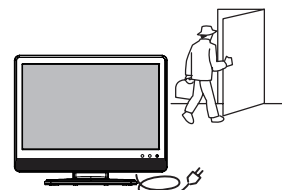


火災・感電の原因となることがあります。

■旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く



火災の原因となることがあります。

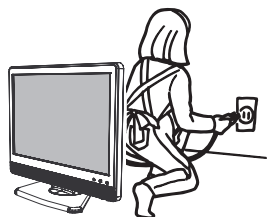
お手入れするとき

⚠ 注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う



電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください



本機の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意（つづき）

お守りください

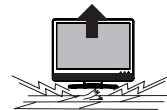
■高温になるところに置かないでください

前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■平坦で安定する場所に設置してください

●テレビをフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、テレビを持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。



- 故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。（傾斜面や、カーペット・畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください）

■パネルを押ししたり、物をぶつけたりしないでください

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押ししたり物をぶつくと、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

■B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

B-CAS カード以外の物を挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■パネルのお手入れは、柔らかい布で拭いてください

●本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。



●硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷つきますのでご注意ください。

●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

●ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

●化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性 / アルカリ性 / 研磨剤入り洗剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

■前面枠やバックカバーのお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

●前面枠やバックカバーの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

●化学ぞうきんは、前面枠やバックカバーが変質する原因となりますのでご使用にならないでください。

●前面枠やバックカバー、操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷つきの原因となりますので使用しないでください。

・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

●横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のある物と一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。



■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

■テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

●画面の縦の長さの3～7倍離れた場所でご覧になれば、見やすく目が疲れにくくなります。

●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

●長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとホコリがセットの中に入ってしまうので、お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取ってください。

お知らせ

■電源の立ち上がりについて

本体の主電源スイッチで電源を「入」にすると、立ち上がりに約 10 秒かかりますが、故障ではありません。

■面欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがあります。自然に回復します。故障ではありません。

■低温度環境での使用について

液晶の特性により、周囲温度が下がるにつれ、液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶テレビは、内蔵している蛍光灯ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすい物（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上には置かないでください。

■パネル駆動音について

視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信する場合があります。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行います。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをおすすめします。本体の主電源スイッチで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

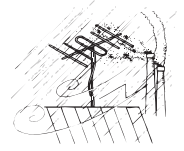
使用上のご注意（つづき）

お知らせ（つづき）

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみいただくためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。



■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本体の主電源スイッチを切り、2～3秒待ってから、再度主電源スイッチを入れてください。

■ラジオについて

本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（90MHz～770MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

留意点

■付属の B-CAS^{レキヤス} カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS^{レキヤス} 「(株) ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」 カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により予約が動作しなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

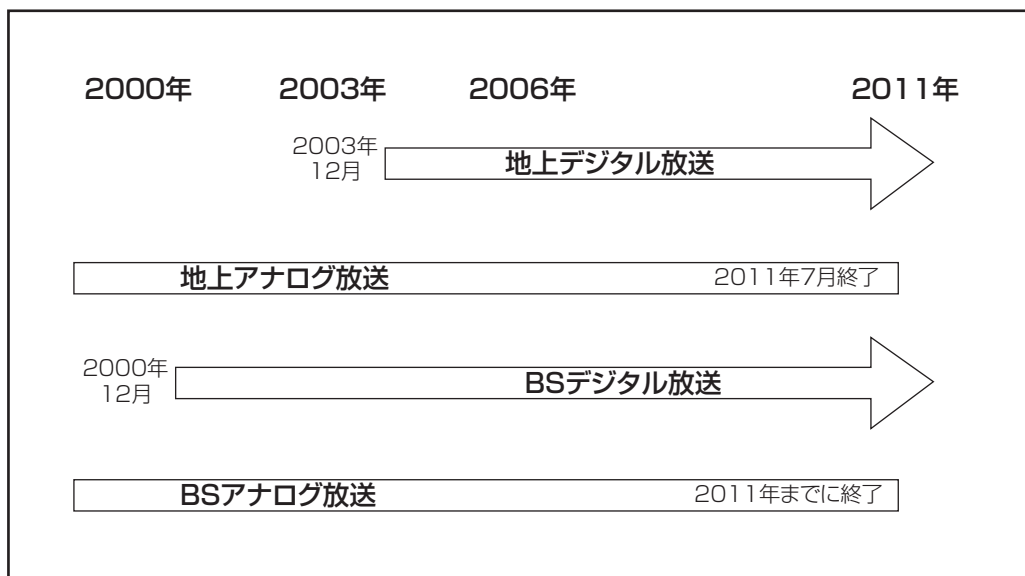
■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

2006年12月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



お知らせ

- 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信をさけるために、当初は非常に小さな出力で放送が開始され、段階的に送出力が上げられていく予定です。このため、放送開始当初は受信エリアが限定されます。
- ブースターなどをご使用されている場合は、段階的に送出力が上げられた際に、ご使用のブースターなどのレベル調整が必要な場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

